

# 実習日誌の現状と課題

— 学生へのアンケート調査から —

長谷川美香 齋藤美智子 坂本 真一 堺 秋彦

## Current Status and Issues of Training Records Related to Childcare

— From a questionnaire survey to students —

Mika Hasegawa Michiko Saito Shinichi Sakamoto Akihiko Sakai

### Abstract

In order to obtain childcare qualifications, students practice at kindergartens and nursery schools. While practicing, students write a record, but many students struggle with it. A questionnaire survey was conducted to help students understand the significance and purpose of keeping a record of practical training and how to make it so that it improves their practical skills as a childcare worker. From the survey results, it was deemed necessary to reduce the time spent on student records. It is also necessary to change the record format and student awareness, and improve student writing skills. In addition, cooperation with training facilities is necessary.

**Key words** : practice in kindergarten, practice at a nursery school, record of practical training about childcare, current status and issues of childcare practical training

### I はじめに

本学の生活科学科福祉こども専攻（以下、福祉こども専攻と記す）では、2年間で、幼稚園教諭二種免許取得に関わる実習を2回（「幼稚園教育実習Ⅰ」、「幼稚園教育実習Ⅱ」）、保育士資格取得に関わる実習を3回（「保育実習Ⅰ（保育所）」、「保育実習Ⅰ（施設）」、「保育実習Ⅱ」または「保育実習Ⅲ」を選択）の合計5回、実習を行っている。<sup>1</sup>

学生は、実習前後や実習中に実習の記録を書き、本学では通常、実習日誌と呼んでいる。その内容は、「実習先の概要」、「実習目標」、「日々の実習記録」、「実習についてのまとめと反省」などが含まれる。本研究は、「日々の実習記録」に関するものであり、学生は、「日々の実習記録」を「日誌」と呼んでいるため、以下、日誌と記す。

学生は、特に日誌を書くことに苦手意識を持ったり、負担感を感じたりする学生が増えており、それは、学生の実習前、実習後の感想や、教員が実習中に訪問指導<sup>2</sup>をした際、実習指導担当者から聞く学生の様子からもうかがえる。本学の実習日誌様式（「幼稚園教育実習Ⅰ」、「幼稚園教育実習Ⅱ」の様式で、日誌を記入するページ）は表1の通りであり、保育所での実習（「保育実習Ⅰ（保育所）」、「保育実習Ⅱ」）の日誌様式はほぼ同じである。施設実習に比べ、幼稚園教育実習、保育所実習の日誌に苦勞を感じる学生が多い。この傾向は本学だけではないようで、各保育者養成校の教員が集まる場においても、同様の悩みを耳にすることもある。

表1 本学の幼稚園教育実習日誌様式（幼稚園教育実習Ⅰ、幼稚園教育実習Ⅱ）

※実際はA3の用紙で、左側と右側が1枚に印刷されている。

※幼稚園教育実習と保育所実習の日誌では、「幼児の活動」（幼稚園教育実習）が「乳幼児の活動」（保育所実習）、「教師の援助」（幼稚園教育実習）が「保育士の援助」（保育所実習）と、項目名が2か所違うが、他は同じである。

【左側】

実 習 記 録		園 名	実習生氏名	
年 月 日 ( )		指導教諭	クラス名	
天候				
実習生の本日の目標			男 女	
ねらい		内容（活動）		
時間	幼 児 の 活 動	教 師 の 援 助	実 習 内 容	環 境 構 成 / そ の 他

以下、省略

【右側】

エピソードのタイトル：		
場面・環境		年齢
子どもの様子／保育者のかかわり	どうしてだろう	この観察やかかわりから わかったこと

以下、省略

今日の反省と気づき（今日の保育全体に関する省察）	
指導教諭の助言	印

日誌を書く目的、意義については、幼稚園教育実習や保育実習の日誌について書かれた書籍を参考に見ていくと、「①実際の子どもの生活・遊びの姿や保育者のかかわりを記録し、子どもの年齢や発達にふさわしい生活を理解する」、「②子どもとのかかわりを振り返り、気づく」、「③指導を担当する保育士に実習生の学びを共有してもらう」、「④課題を明確にして、次に活かす」<sup>3</sup>といったことや、「①日々の実習の流れや出来事や、実習生が観察し、体験したことを、客観的にしかも具体的に記録することによって、漠然としていたことが整理確認できる」、「②見たり聞いたり体験したりしたことなかで、重要なことを忘れてしまうなど不確実なものとしないうちにも、その日のうちになるべく

確に記録しておくことが必要である」、「③指導者（担当の保育者や園長先生など）からの助言や、その日の問題点・反省点を、その日のうちに整理し、記録することにより、明日の実習に向けて考え、準備することができる」、「④実習によって得た経験、知識、感動、反省、感想などを、その場かぎりのものにしない」、「⑤実習についての記録をすることにより、後日読み返すことができ、そのときのことを思い出し、原点に戻って、保育や実習することについて考えることができる」、「⑥実習日誌の記録は、実習中はもちろん、実習終了後の実習の場での反省会や養成校での反省会、実習担当者（実習の場および養成校の）から指導を受けるときの参考資料となる」、「⑦実習終了後、再度実習日誌を読み直して内容等を確認することにより、実習全体の経過がわかり、成果や課題が確認でき、その後の学習の役に立つ<sup>4</sup>」といったことがあげられている。

本稿では、学生へアンケート調査を行い、日誌に関し、苦手意識や負担感をどの位感じているのか、実習中の日誌に費やす時間はどの位か、日誌を通してどういったことを学んでいるのかなど、現状を明らかにする。さらに、上記のような目的、意義を学生が理解し、保育者としての実践力が向上する日誌となるためにはどうしたらいいのかを検討し、日誌様式の改訂や、今後の指導の参考とする。

## Ⅱ 方 法

福祉こども専攻の2年生を対象に、日誌に関するアンケート調査を実施した。調査は、「幼稚園教育実習Ⅰ」、「幼稚園教育実習Ⅱ」、「保育実習Ⅰ（保育所）」、「保育実習Ⅰ（施設）」の4回の実習を終えた2019年7月に行い、調査の目的や手順、個人情報への厳守等を説明したうえで、38名の学生から回答を得た。

幼稚園教育実習、保育所実習での日誌に苦慮する学生が多いことから、調査内容は、アンケート調査時点で実習を終えている、「幼稚園教育実習Ⅰ」、「幼稚園教育実習Ⅱ」、「保育実習Ⅰ（保育所）」に関することとした。

10の質問項目があり、その内容は、(1)「実習で日誌を記入することに負担を感じるか」（多岐選択式、「負担であると感じる」または「少し負担であると感じる」を選択した場合、理由を自由記述式で回答）、(2)「1日分の日誌を書く際に費やす時間は、平均どの位か」（多岐選択式、「4時間以上」を選択した場合、具体的な時間を回答）、(3)「1年生の頃に比べて、また経験した実習回数が増えて、日誌の負担は減ったか」（多岐選択式）、(4)「1年生の頃に比べて、また経験した実習回数が増えて、自分の記録の内容は良くなっていると思うか」（多岐選択式）、(5)「現在の日誌の様式の良い点は何か（無い場合は未記入）」（自由記述式）、(6)「それぞれの記録をすることで、どのようなことを学ぶことが出来たか」（自由記述式）、(7)「どの様にしたら、もっと日誌が書きやすくなると思うか」（自由記述式）、(8)「実習先の実習指導担当者から、日誌についてどのような点をよく指導されるか」（自由記述式）、(9)「実習中の平均的な1日のスケジュール（幼稚園教育実習、保育所実習で違う場合は、それぞれで記入）」（自由記述式）、(10)「その他、日誌について意見や感想はあるか」（自由記述式）となっている。

日誌は、表1の通り、左側が1日の生活の流れを項目に分けて記入する記録（時系列記録）、右側はエピソードを取り上げ記入する記録（エピソード記録）となっている。

学生によってはどちらかのみに苦慮していることも考えられるため、質問事項の(1)、(2)は、幼稚園教育実習の時系列記録（表1の左側）とエピソード記録（表1の右側）、保育所実習の時系列記録とエピソード記録に分け、(3)から(7)は、時系列記録とエピソード記録に分けて回答を求めた。(9)は、記入例を示し、主に、起床時間、実習時間、食事の時間、日誌や指導案作成など実習準備の時間、自由時間、就寝時間について回答することとした。

## Ⅲ 結果および考察

調査の結果は、以下の通りであり、質問の項目ごとにまとめた。学生38名から回答を得たが、項目によっては未記入のケースもあり、全ての項目で38名分の回答を得られた訳ではない。記入されているものの質問に対する適切な回

答でなかったケースは、カウントしなかった。また、自由記述の回答は全て載せたが、同じ内容である場合はまとめて1つとして載せている。

## 1. 結 果

- (1) 「実習で日誌を記入することに負担を感じるか」(多岐選択式、「負担であると感じる」、または「少し負担であると感じる」を選択した場合、理由を自由記述式で回答)

表2 (1)に対する回答(名)

	「負担であると感じる」	「少し負担であると感じる」	「あまり負担と感じていない」	「負担を感じていない」
幼稚園教育実習の時系列の記録	10	13	15	0
幼稚園教育実習のエピソード記録	18	6	12	2
保育所実習の時系列の記録	12	11	14	1
保育所実習のエピソード記録	14	10	12	2

表3 (1)で「負担であると感じる」または「少し負担であると感じる」と回答した理由

	「負担であると感じる」理由	「少し負担であると感じる」理由
幼稚園教育実習の時系列の記録	書く内容が多いため・時間がかかる・どこまで詳しく書けばよいか分からない・細かく思い出すのに時間がかかる・毎日同じことを書くことが多い・どうやって簡潔にまとめたらいのか分からず紙を付け足して書くことになり、特に保育者の援助や実習内容を書くのに時間がかかる	全日実習に向けて詳しく書いてると書ききれず、睡眠時間も削られる・細かく書いてしまい時間がかかる・細かくの基準が分からない・エピソードを入れて記録すると時間がかかる・学ぶ上では大切だが、園や保育者によって書き方を変えなければならないことが負担である
幼稚園教育実習のエピソード記録	実習の最中だとメモを取っている余裕はなく、いざ書くときに思い出せない・「どうしてだろう」の部分が書き出せない・1日のエピソードがなかなか見つからない・細かく思い出すのに時間がかかる・コメントがあるわけでもないから、担当の先生に見てもらえているのか分からないため、なぜ書いているのかという気持ちになる・エピソードの内容がない・エピソードを見つけるのに必死で実習してしまうし、喧嘩のシーンは使えると思って見守ってしまう・学んだことが点々としていて書き表すことが出来ない・何を書いていいか分からない	エピソードが見つからない・思い出すのが大変・中央(「どうしてだろう」)と右の欄(「この観察やかかわりからわかったこと」)が同じになってしまう・エピソードを何にするか考えながら子どもとかかわってしまう
保育所実習の時系列の記録	時間がかかる・どこまで詳しく書けばよいか分からない・細かく思い出すのに時間がかかる・一日が長い上に(実習指導者に)書いてと言われた・毎日同じことを書くことが多い・幼稚園よりも書くことが多かった・どうやって簡潔にまとめたらいのか分からず紙を付け足して書くことになり、特に保育者の援助や実習内容を書くのに時間がかかる・幼稚園と違い時間が倍くらい長い	保育時間が長い・全日実習に向けて詳しく書いてると書ききれず、睡眠時間も削られる・細かく書いてしまい時間がかかる・疲れていて書けない・保育者をずっと見ていることが無かったため少なくなった・細かくの基準が分からない・細かく「～した」と記録していて、時間がかかった

	「負担であると感じる」理由	「少し負担であると感じる」理由
保育所実習のエピソード記録	日誌の提出がその日に提出のため書く時間がない・実習の最中だとメモを取っている余裕はなく、いざ書くときに思い出せない・1日のエピソードがなかなか見つからない・日に日にエピソードが無くなる・細かく思い出すのに時間がかかる・(実習指導者の)コメントがある訳ではなく見てもらっていたとしても何も言われず、それをどう生かしていけばいいのか分からない・エピソードを見つけるのに必死で実習してしまうし、喧嘩のシーンは使えると思って見守ってしまう・エピソードを探すために子どもと関わろうとしてしまう・細かく書かなければいけないことが大変・実習中、エピソードを見つけることに集中してしまう・何を書いていいか分からなくなる	書く内容が見つからない・毎日、同じようなエピソードになる・エピソードを見つけることに集中して、目標などに意識を向けられない・観察実習がほとんどで、エピソードを探すのに苦戦した・エピソードを何にするか考えながら子どもと関わってしまう・中央(「どうしてだろう」)と右の欄(「この観察やかかわりからわかったこと」)が同じになってしまう・思い出すのが大変

表2から、幼稚園教育実習、保育所実習それぞれの時系列記録、エピソード記録、どれにおいても、「負担であると感じる」または「少し負担であると感じる」と答えた回答が、「あまり負担と感じていない」、「負担を感じていない」の回答よりも多い結果となった。人数に多少差はあるが、概ね、実習先の種別や、日誌の時系列記録かエピソード記録かという違いに関わらず、この調査においても、日誌に負担感を感じている学生が多いと推察される結果となった。

「負担であると感じる」または「少し負担であると感じる」と答えた学生が、その理由として記入した回答からは、表3から、実習種別に関わらず、時系列記録においては、「時間がかかる」、「どこまで詳しく書けばよいか分からない」もしくは「どうやって簡潔にまとめたらいのか分からない」、「毎日同じことを書くことが多い」といった回答が多いことが分かる。エピソード記録においては、「エピソードが見つからない」、「エピソードを見つけることに集中して、目標などに意識を向けられない」、「エピソードを何にするか考えながら子どもとかかわってしまう」などの意見、感想があった。表2、3からは把握出来ないが、実習種別により回答を変えるのではなく、幼稚園教育実習において回答した理由を、保育所実習においても挙げた学生も多い。

幼稚園教育実習と保育所実習の時系列記録で「負担であると感じる」、「少し負担であると感じる」と回答した数は同じであり、幼稚園教育実習と保育所実習のエピソード記録で「負担であると感じる」、「少し負担であると感じる」と回答した数も同じであることも分かった。表2、3からは把握出来ないが、幼稚園教育実習の時系列記録で「負担であると感じる」または「少し負担であると感じる」と回答した多くの学生は、保育所実習の時系列記録においても、「負担であると感じる」または「少し負担であると感じる」と回答している。この傾向はエピソード記録においても同様であった。これは、学生自身が、そもそも日誌、もしくは日誌に限らず書くことが苦手であるのか、また、同じ時系列記録またはエピソード記録でも、幼稚園教育実習、保育所実習のどちらかが「負担であると感じる」、または「少し負担であると感じる」と回答し、もう一方を「あまり負担と感じていない」または「負担を感じていない」と回答したケースの場合、実習先の指導方法、内容により、感じ方に差があるのか、これらについては、今回の調査においては明らかにすることは出来なかった。

さらに、幼稚園教育実習、保育所実習どちらにおいても、時系列記録よりもエピソード記録で「負担であると感じる」と感じる学生が多いことが分かった。

- (2) 「1日分の日誌を書く際に費やす時間は、平均どの位か」(多岐選択式、「4時間以上」を選択した場合、具体的な時間を回答)

表4 (2)に対する回答(名)

	1時間未満	1～2時間	2～3時間	3～4時間	4時間以上
幼稚園教育実習の時系列の記録	5	13	7	9	4
幼稚園教育実習のエピソード記録	10	21	3	3	1
保育所実習の時系列の記録	5	13	9	6	4
保育所実習のエピソード記録	9	21	4	2	1

表4から、実習先の種別や、日誌の時系列記録かエピソード記録かという違いに関わらず、書く際に費やす時間は、1～2時間の学生が最も多いことが分かる。日誌は、時系列記録とエピソード記録両方を書くため、1日分を書き終えるには、おおよそ2時間～4時間の時間を費やしている学生が多いのかも知れない。

時系列記録、エピソード記録を比較すると、時系列記録に時間がかかるケースが多く、4時間以上と答えた学生には具体的に何時間かかるのかも尋ねたが、一番多い学生で、幼稚園教育実習の時系列記録に7時間費やしているという回答を得た。

(1)と(2)の回答を比較すると、保育所実習のエピソード記録において、(1)で「あまり負担と感じていない」と答えながらも、(2)では4時間以上費やすとする学生が1名いたが、そのケースを除き、それぞれの記録で4時間以上費やすと答えた学生は(1)で「負担であると感じる」、または「少し負担であると感じる」と回答している。

- (3) 「1年生の頃に比べて、また経験した実習回数が増えて、日誌の負担は減ったか」(多岐選択式)

表5 (3)に対する回答(名)

	「そう思う」	「まあまあそう思う」	「あまり思わない」	「全く思わない」
時系列の記録	4	18	11	5
エピソード記録	1	16	15	6

表5から、1年生の頃に比べ、また経験した実習の回数が増え、日誌の負担が減ったかどうかという質問に対し、時系列記録、エピソード記録、どちらに関しても「まあまあそう思う」という回答が一番多かった。前述した通り、このアンケート調査は「幼稚園教育実習Ⅰ」、「幼稚園教育実習Ⅱ」、「保育実習Ⅰ(保育所)」を終えた時期に行ったものであり、基本的に「幼稚園教育実習Ⅰ」と「幼稚園教育実習Ⅱ」の実習先は同じであるため、実習先の日誌に関する指導内容、方法に慣れたということも、この結果に繋がったのかも知れない。ただし、エピソード記録においては、「あまり思わない」と1名の差となっている。

時系列記録、エピソード記録で「全く思わない」と回答した学生のうち4名は、時系列記録、エピソード記録、どちらにおいても「全く思わない」と答えている。そして、その内、(1)で「負担であると感じる」、または「少し負担であると感じる」という回答があった学生は3名、(2)で、全ての記録において3～4時間以上費やす学生が1名、幼稚園教育実習の時系列記録に4時間以上(5、6時間)費やす学生が1名いた。

- (4) 「1年生の頃に比べて、また経験した実習回数が増えて、自分の記録の内容は良くなっていると思うか」(多岐選択式)

表6 (4)に対する回答(名)

	「そう思う」	「まあまあそう思う」	「あまり思わない」	「全く思わない」
時系列の記録	10	20	7	0
エピソード記録	4	24	6	3

表6から、1年生の頃に比べ、また経験した実習の回数が増え、記録内容が良くなっていると思うかという質問に対し、時系列記録、エピソード記録、どちらに関しても「まあまあそう思う」という回答が一番多かった。これも、(3)同様、実習先に慣れ、実習先の指導に従って記録出来、評価される、実習の度に毎日記録することで、ポイントが掴め、内容が良くなっているなどのことから、学生がこのように感じていると推察することが出来る。

エピソード記録において「全く思わない」と回答した学生3名は、全員が(3)の、エピソード記録においても「全く思わない」と答え、その内1名は、時系列記録においても「全く思わない」と答えている。

- (5) 「現在の日誌の様式の良い点は何か(無い場合は未記入)」(自由記述式)

表7 (5)に対する回答

時系列の記録	先生の行動の意図も自分なりに考えられる・実習で経験したことを冷静に振り返ることができる・短く所要所で書きやすい・先生の援助の他に、環境構成とともにその他の欄があることで書ききれないことを書くことが出来る・細かい一日の流れを後で見た時に思い出せる・一日の行動、関わりを細かく振り返ることが出来る・書くスペースが減った <sup>5</sup> ことで、簡潔にまとめる力がついてきた・流れを整理し、理解することが出来る・実践では見えなかったことが見える・出来事などを書くことが出来るようになってきた・乳幼児の活動と保育士の援助の欄が隣同士だから、子どもの行動に対して保育者がどのような援助をしたのかを確認しやすい。同様に、保育士の援助と実習内容が隣同士だから、保育士の姿に対して実習生がどのようなことをしていたのか照らし合わせながら見られて良い・その他の欄があるところ・部分実習、全日の時に役に立つ・職員の動きや子どもの動き、実習生の、環境構成、その他が分かれています書きやすい・細かくかけるため責任時実習の時に行動しやすくなる
エピソード記録	子どもの様子に目を向けることが出来る・「どうしてだろう」の所を書くことで整理しやすい・自分でエピソードの中から疑問に思ったことを書くことで、深く考えられる・実習中は関わることで精一杯で見てこなかった子どもの姿の気づきが生まれた・どんなことがあったのかを思い出せる・自分の考えを保育者に知ってもらえる・考察があることで、大変ではあるが、回数を重ねるごとに学びが増えると思う・書いたエピソードについて深く考えることが出来る。子ども理解を深めることができる・保育者の様子も取り入れることができるようになってきている・「どうしてだろう」があることで、子どもや保育者の姿に対して自分なりに考察することが出来て考察力がつく・後から記録を見返した時に気づきがあって面白いし、学びに繋がる・今後の実習で意識出来る・子どもの様子を振り返ることが出来る・エピソードを振り返り、前の自分の考え方と比べることが出来る

現在の様式に良い点が無いと思う場合は未記入であったが、時系列の記録には15名、エピソード記録には13名の学生から回答を得た。

その内、11名の学生は両方の良い点を回答している。これらの学生は、(1)において、1名のみ幼稚園教育実習、保育所実習どちらにおいてもエピソード記録で「あまり負担と感じていない」と回答しているが、その学生を除き、「あまり負担と感じていない」、または「負担を感じていない」を選んではおらず、日誌に何かしら負担を感じている。それにも関わらず、日誌の様式には良い点を感じているという結果になった。

(6) 「それぞれの記録をすることで、どのようなことを学ぶことが出来たか」(自由記述式)

表 8 (6)に対する回答

時系列の記録	<p>一日の流れを理解すること・後から見返したときに担当保育者がどんな声掛けを行っていたのか参考に出来る・保育者の意図と子どもの動きの繋がり・子ども達がどんなことで遊んでいるか・先生の行動の意図・保育者の援助する内容、動き、ねらい・振り返りがしやすい・自分でアドバイスされた時間やポイントなども分かりやすく、ここから出てきた疑問などを次に生かせる・全日実習の指導計画に役立つ・環境設定の欄の重要性・それぞれの場面での環境構成・毎日の違いや出来事、生活で毎日行っていること・保育者の意図に気づくことの重要性・毎日同じような動きに見えるが、子ども達の様子は毎日違うので、それに対する職員の子どもの達に対する対応も日によって少しずつ違うこと・細かく書いた方が実習中行動しやすくなること</p>
エピソード記録	<p>子どもの育ちの様子・子どもの特徴について考えること・子どもとのかかわり方を知ること・保育者からの視点・子どもの動き・子ども一人ひとりの様子やどんな遊びが好きなのか知ること・文字にすることで子どもの気持ちを汲み取るためのアンテナの立て方を学べた・トラブルが起きた時にどんなかわりや声掛けをしているのかを知ること・指導案を書く際、参考になる・子ども同士のかかわりや、興味や関心が向くポイント・子どもの行動に対しての考えを深めること・後で記録を見た時にそのクラスの発達状況が分かる・子どもの考えを理解すること・子どもの細かな様子も観察しようとする姿勢・こういう時はこういう対応したほうがいいなと思うこと・自分の考えをまとめて、保育に対する思いが深まる・子どもの行動の意図を客観的に考えることの重要性・エピソードに書いた子どもへの疑問を自分なりに分析し、子ども理解を図ることの重要性・子どもの姿から推察することを通して、子どもの行動にはその子なりの意図がありそれは発達するうえで意味のあることである・子ども同士の関わりや子どもについての考察・子ども一人ひとり見ることの大切さ・どうしてこのようなことが起こったのかという気付き・子どもらしい発想・日を過ごしていくごとに子ども達の遊びが変化していくこと・子どもの行動や気持ち、保育者の援助・子どもとの関わりの中で疑問に思ったことの振り返り</p>

時系列の記録には36名、エピソード記録には32名の学生から回答を得た。時系列記録、エピソード記録どちらにおいても、(5)の回答と重複する内容の回答があった。現在の日誌の様式の良さが、学生の学びに繋がっていると言える。

(7) 「どの様にしたら、もっと日誌が書きやすくなると思うか」(自由記述式)

表 9 (7)に対する回答

時系列の記録	<p>おおまかに記入する・今のままで良い・時間をあらかじめ記入しておく・裏<sup>6</sup>はあったほうが良い・簡潔に書くポイントを押さえる・朝、昼、夕どれかに絞りローテーションで書いていく・罫線があると良い・時系列に関しては、書きやすくなることはないと思う。自分で短くまとめるしかない・ピンポイント、自分が気になった所をピックアップして書く(自由遊びの場面など)・毎日同じことを書く場合は短くしたい・正解が分からない・毎日あることは記入しないということにし、そのことを園に伝える・本や新聞を読んで、文章力をつけたり語彙を増やしたりして自分の考えを文面にするスピードをあげる・具体的に書いても(長く書いても)大丈夫のように枠をもっと増やして欲しい・施設の日誌と同じように、まとめ、反省を一緒に書けるようにする</p>
エピソード記録	<p>全体的に観察する・今のままで良い・枠を小さくして時系列の枠をもう少し増やす・時系列かエピソードのどちらかを中心的に書けるようになるかと時間をかけずに出来ると思う・「なぜだろう」の欄を改善する・毎日一つを記入するのではなく、印象に残った、記録として残したいと感じたようなエピソードがあった時に自由に書く形だと、毎日エピソードを見つけなきゃという感覚で実習することも無く、沢山ある時に多く記録しておくことが出来る・項目を3つではなく1つにして、その日見た子どもの様子を自由に書けるようにした方が時間がかからない・中央と右の欄をまとめる・いらないと思う・正解が分からない</p>



時系列の記録には17名、エピソード記録には26名の学生から回答を得た。時系列記録では、「簡潔に書くポイントを押さえる」、「朝、昼、夕どれかに絞りローテーションで書いていく」など、詳細に記入するのではなく、ポイントを絞ると良いのではないかという意見がある一方で、「具体的に書いても（長く書いても）大丈夫なように枠をもっと増やして欲しい」など、長めの記録となることを想定した意見もあった。実習先、実習指導担当者によって、記録のどの部分を中心に書くか、どの位詳細に書くかといった指導方法が違うことも、影響していると思われる。エピソード記録では、「『なぜだろう』の欄を改善する」、「項目を3つではなく1つにして、その日見た子どもの様子を自由に書けるようにした方が時間がかからない」、「中央と右の欄をまとめる」など、様式（現在の様式については表1の通り）に関する意見があった。

時系列記録、エピソード記録どちらにおいても、「今のままで良い」（エピソード記録においては3名）、「正解が分からない」、エピソード記録においては、「いらないと思う」といった回答もあった。

また、「本や新聞を読んで、文章力をつけたり語彙を増やしたりして自分の考えを文面にするスピードをあげる」と、自分自身が努力をして変わらなければいけないと感じる学生もいた。

(8) 「実習先の実習指導担当者から、日誌についてどのような点をよく指導されるか」（自由記述式）

表10 (8)に対する回答

指導案にはあるが日誌については（指導が）無い・時系列をもっと簡潔に書いても良い・もっと具体的にと言われるが先生の感じ方と自分の感じ方が違う・もっと細かく、もっと保育者の動きを見てそれを書くように・園によって違うが簡潔に書いてほしいと言う先生と、主任の動きだけではなく副担任の動きも書いて欲しいという先生・子どもの動きをもっと詳しく・その日の主な活動を中心に細かく書く・誤字脱字、言葉の使い方・エピソードを書く所は、保育者と子どものかわりを書く。時系列の部分に子どものエピソードを何個か書く・字の統一・エピソードが足りない・見やすく、担任や子どもの行動、援助を具体的に書く・先生の指導の仕方を詳しく書く・肯定的に書く・ポイントを押さえて、何がどうでこうなのかまで詳しく書く・綺麗に書く・言い回し・第三者からみても、その光景が伝わるような書き方をする・目標に対するエピソードになっていない・エピソードがとても大切・言葉選びを工夫する・保育者の声掛けを具体的に書く・一人の子どもの行動に対しての保育者の援助も書く・子どもの様子を具体的に書く・保育者の意図についてもっと詳しく書いて欲しい・あまり指導してもらえない・ねらいに対する目標をもっと工夫する・援助の意図を考える

29名から回答を得た。「時系列をもっと簡潔に書いても良い」という回答もあるが、「もっと細かく、もっと保育者の動きを見てそれを書くように」、「保育者の声掛けを具体的に書く」、「見やすく、担任や子どもの行動、援助を具体的に書く」、「先生の指導の仕方を詳しく書く」などと、詳細に記録することを求められていると感じる回答が目立つ。

2名から「指導案にはあるが日誌については（指導が）無い」、「あまり指導してもらえない」という回答もあった。実習指導担当者が日誌に関する指導を十分に行えない理由は、本研究においては明らかとはならないが、学生が不安な思いを抱えながら実習を行っていたと思われる。

(9) 「実習中の平均的な1日のスケジュール（幼稚園教育実習、保育所実習で違う場合は、それぞれで記入）」（自由記述式）

以前から、「実習中は寝る時間が無い」という学生の声があり、筆者らは特に睡眠時間に注目していたため、それに絞って回答をまとめた。

表11 (9)に対する回答 (名)

	7 時間以上	5 時間以上～ 7 時間未満	3 時間以上～ 5 時間未満	3 時間未満
幼稚園教育実習の睡眠時間	13	12	9	3
保育所実習の睡眠時間	14	14	2	3

幼稚園教育実習には37名、保育所実習には33名の学生から回答を得た。幼稚園実習では、「7時間以上」、保育所実習では、「7時間以上」と「5時間以上～7時間未満」が同数で最も多い。幼稚園教育実習では最も多くて8時間40分、最も少なくても2時間、保育所実習では最も多くて9時間、最も少なくても1時間で、学生によりだいぶ差がある。

中には「3時間未満」である学生が、幼稚園教育実習、保育所実習、どちらにおいても3名ずつおり、その内2名は同じ学生である。これらの学生の(1)の回答を見ると、1名は幼稚園教育実習の時系列記録、保育所実習の時系列記録とエピソード記録は「あまり負担と感じていない」とし、幼稚園教育実習のエピソード記録を「負担であると感じる」として回答している。もう1名は、幼稚園教育実習も保育所実習も、時系列記録は「少し負担であると感じる」とし、エピソード記録は「負担であると感じる」と回答していた。2名とも、エピソード記録に、5、6時間費やしており、そのことが睡眠時間が少ないことに繋がっているとも考えられる。

(10) 「その他、日誌について意見や感想はあるか」(自由記述式)

表12 (10)に対する回答

実習日誌にも慣れてきて前よりも書きやすくなった・日誌の用紙が破けやすい。用紙を一枚ずつに分けたほうが書きやすい・エピソードはいらなと思う・文字にするのに時間がかかるため、他の人より日誌にかかる時間が倍になってしまいうし、実習中一番きついののはやっぱり日誌だけど、1年生の時より気づきも増え、子どもを見るまなざしも変わり、自分の保育に対する考えを持てたことで、自然と日誌の書き方にも変化があったように思う・苦手意識が強くなりすぎて、日誌を目の前にすると書けなくなる

5名から回答を得た。「実習日誌にも慣れてきて前よりも書きやすくなった」、「(前略) 1年生の時より気づきも増え、子どもを見るまなざしも変わり、自分の保育に対する考えを持てた (後略)」など、大変であると感じていた日誌に慣れてきたことや、日誌を記入する意味に気付く意見もあるが、「苦手意識が強くなりすぎて、日誌を目の前にすると書けなくなる」と、日誌に対し強い苦手意識、負担感を持つ意見もあった。

## 2. 考 察

以上の結果から、大きく、①「日誌に負担感を感じている学生は、負担感を感じていない学生よりも多いこと」、②「日誌に費やす時間は、エピソード記録より時系列記録の方が長いこと」、③「経験した実習回数が増えると、時系列記録、エピソード記録、どちらにおいても内容が良くなってきたと感じる学生が多いこと」、④「時系列記録は、学生、実習先によって詳細に、長めに記入出来る様式にして欲しいという意見と、ポイントを絞り短めに記入出来るようにして欲しいという意見があり、エピソード記録においては、様式の変更に対する希望があること」、⑤「実習先からは日誌を詳細に記入することを求められるケースが多いこと」、⑥「経験した実習回数が増えて、日誌に慣れたり、日誌を書く意味を理解したりする学生と、実習回数が増えても、苦手意識が強い学生がいること」が明らかとなった。

日誌が、学生の負担感が強いものにならず、保育者としての実践力を高める記録になるにはどうすればいいか、アンケート調査の結果を踏まえて考えると、日誌に費やす時間を減らす必要があることが分かる。睡眠時間が極端に少

ない学生は、日誌に費やす時間もかなり多い。実習中は日誌の他に、教材作成や指導案作成など準備することが多く、慣れない環境から体調も崩しやすいため、日誌に費やす時間を減らし、他のことにも使える時間の確保、十分な睡眠時間の確保が、充実した実習を過ごすことに繋がるものと思われる。

日誌に費やす時間を減らすために出来ることとしては、日誌様式の改訂をすることや、学生の意識を変えること、学生の文章力を向上させること、実習先とさらに協働していくことなどが考えられる。

日誌様式の改訂については、福祉こども専攻内で具体的に検討する。また、教員が実習指導の中で、日誌の目的、意義を丁寧に伝え、学生が理解出来るようにすると同時に、「自分は書くことが苦手である」、「日誌の様式が自分には合っていない」などと諦め、開き直すのではなく、学生自身がどうしたら書けるようになるのかを考え、技術が向上するために実践していく姿勢も育てていき、意識を変えていく。日誌に関する指導は、1年次の前期より、実習指導の授業時間の他、他の授業においても行っているが、文章力を向上させるための機会を、教員がさらに意識的につくっていく必要があるかも知れない。そして、日誌に関することだけではないが、学生にとって、保育者としての資質を高める実りある実習となるために、本学と実習先とが協働する関係性を深めていく必要があり、今後の課題でもある。

## 注

- 1) 「教育職員免許法施行規則」（文部科学省）によると、幼稚園教諭二種免許取得に関わる実習は4週間程度、「指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について」（厚生労働省）によると、保育士資格取得に関わる実習は、「保育実習Ⅰ」（保育所実習と施設実習）で概ね20日間、「保育実習Ⅱ」（保育所実習）または「保育実習Ⅲ」（施設実習）のいずれかの概ね10日間行う。本学では「幼稚園教育実習Ⅰ」（5日間）、「幼稚園教育実習Ⅱ」（15日間）、「保育実習Ⅰ（保育所）」（10日間）、「保育実習Ⅰ（施設）」（10日間）、「保育実習Ⅱ」または「保育実習Ⅲ」（選択制、10日間）を行っている。
- 2) 実習中は、福祉こども専攻の教員が各実習先へ出向く、訪問指導を行っている。「指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について」（厚生労働省）の「保育実習実施基準」では、「指定保育士養成施設の実習指導者は、実習期間中に少なくとも1回以上実習施設を訪問して学生を指導すること。なお、これにより難しい場合は、それと同等の体制を確保すること」と示されている。
- 3) 近喰晴子・寅屋壽廣・松田純子（2016）p38
- 4) 相馬和子・中田カヨ子（2018）p24
- 5) 時系列記録の欄が足りず紙を付け足して記入する学生が多かったことから、2018年度は日誌用紙の裏面にも時系列記録の欄を設けたが、欄が増えたことで負担感を感じる学生もあり、2019年度は裏面の無い様式に戻した。しかし、そのことで負担感が減った学生がいる一方、紙を付け足す学生が再び増え、裏面があった方が良かったという声もあり、学生や実習先によって意見が違うという現状がある。
- 6) 注5に同じ

## 文 献

- 1) 一般社団法人全国保育士養成協議会（2018）保育実習指導のミニマムスタンダード「協働」する保育士養成 Ver.2, 中央法規
- 2) 近喰晴子・寅屋壽廣・松田純子（2016）基本保育シリーズ 保育実習, 中央法規
- 3) 相馬和子・中田カヨ子（2018）幼稚園・保育所実習 実習日誌の書き方, 萌文書林